

欧日ジェンダー研究フォーラム

主催 ローマ大学“ラ・サピエンツァ”東洋研究学部
日本ジェンダー学会
後援 在イタリア日本大使館
ローマ日本文化会館（国際交流基金）
（社）日本ペンクラブ
京都生涯教育研究所
京都文化創生実行委員会
早稲田大学イタリア研究所
開催日 2005年11月25日（金）・26日（土）
会場 ローマ大学“ラ・サピエンツァ”東洋研究学部 大講堂
Via Principe Amedeo 184 - Roma

11月25日（金）

9.00 会場受付

10:00 - 10:30 開会挨拶

マリーア・テレーザ・オルシ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）
フェデリーコ・マズイーニ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”東洋研究学部長）
富士谷あつ子（日本ジェンダー学会長、京都生涯教育研究所長）
土屋淳二（早稲田大学）
マリア・ジョイア・ヴィエンナ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）

10:30 - 12:30 基調講演

ナディア・フズィーニ（作家、ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）：「ヴァージニア・ウルフに脅かされたのは
」

富士谷あつ子（作家、日本ジェンダー学会長、京都生涯教育研究所長）：「ほんとうの日本文化の伝統とは
歌舞伎台頭とジェンダー観の変遷」

—昼食—

14:00 - 15:20 第 I 部 国民国家の形成とジェンダー
コーディネーター 武田好（神戸女学院大学）

佐伯順子（同志社大学）「近代化のなかの樋口一葉—女性作家とジェンダー」
伊藤公雄（京都大学）「国民国家・ファシズム・男性性」

—休憩—

15:30 - 16:50 第Ⅱ部 ジェンダー平等への戦略
コーディネーター 伊藤公雄（京都大学）

岡本民夫（同志社大学前副学長）「ジェンダー社会福祉の現状と課題」

ピアア・ロカテッリ（欧州議会議員、女性社会主義インターナショナル議長）「EUにおけるジェンダー」

—休憩—

17:00-18:20 第Ⅲ部 若者たちのジェンダー問題
マリア・ジョイア・ヴィエンナ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）

武田好（神戸女学院大学）「日本における女子大学の役割—
神戸女学院大学を事例として」

塚本利幸（福井県立大学）「女性の就業率上昇とジェンダー意識—
福井県を事例として」

—休憩—

18:30 - 20:30 ビデオ上映
『芸か恋か 阿国と山三』（文化庁支援事業）

原作・脚本：富士谷あつ子， 演出：松尾正武
制作：京都生涯教育研究所，京都文化創生実行委員会
協力：（株）東映京都スタジオ，（有）太田工芸，（財）大学コンソーシアム京都

11月26日（土）

10:00 - 11:20 第Ⅳ部 ジェンダー・イメージの社会的構築
コーディネーター マティルデ・マストランジェロ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）

マリア・ジョイア・ヴィエンナ（ローマ大学“ラ・サピエンツァ”）

「イタリアにおける日本女性像について芸者ステレオタイプのなりたちとその現世代との矛盾」

土屋淳二（早稲田大学）「クロスオーヴァー・リアリティとジェンダーカテゴリー—日本文化の現在」

—休憩—

11:30 - 12:30 閉会挨拶

フォーラム討論と大会のまとめ：伊藤公雄（京都大学）岡本民夫（同志社大学）

来賓挨拶

松原宣子（駐イタリ日本大使）